

未来のいやしとサミット(黙示録1:1-3)  
「時代を生かす技能作品」

▶序論

▶第2講義目は昨日よりもっと重要なので、昨日よりもっと短くメッセージをしたいと思います。  
2種類の人があります。

1) 神様を信じる人と神様を信じない人

▶神様を信じる人がいて、そして、信じない人がいます。どちらが正しいかは既に証明されています。神様はいないと言った共産主義は、すでに失敗しました。人間が神を知らなければ、完全に動物と同じ状態です。ある意味、最近、動物以下の扱いをされているかもしれません。

2) 福音を知っている人と福音を知らない人

▶神様を知っている人の中でも2種類の人があります。福音を知っている人がいて、知らない人がいます。福音を正しく知っている人はあまりいません。

3) 霊的世界を知っている人と霊的世界を知らない人(三位一体、背景、御座)

▶福音を知っている人の中でも2種類の人があります。霊的世界を知っている人がいて、知らない人がいます。霊的な世界を分かってこそ祈りも可能になります。三位一体の神様が、いま私たちとともにおられます。目に見えない姿で。私たちの背景はとてつもなく大きいです。いまも祈るときに御座の祝福が臨まれます。目に見えない主の御使いたちの活動が動いています。そして、私たちに与えられた権威があります。皆さんはただ賛美しているかもしれませんが、賛美をする際に多くの暗やみの勢力が打ち砕かれます。

4) 時代を動かすレムナント、時代を動かさない人

▶この霊的世界を知っている人の中にも2種類の人があります。時代を動かす人がいます。時代を絶対に動かさない人がいるかと思えば、時代を動かせるレムナントが出てきました。

▶確実にすべきこと5つ - 時代を動かせるレムナントになるためにはどうすればいいのか。確実にやっ  
ていかなければならない5つについてお話しします。

確実にすべきこと5つ(CVDIP)

①Covenant

キリストにあって - 終わり、始まり

②Vision

神様が造られた私、私のこと、私の現場。福音の中にあるビジョン。

③Dream

鮮やかな夢(レムナント7人) - 終わりを知っていた。神様がくださった夢。

④Image

すでに受ける答えを知って味わい始めた。

申6:4-9(この言葉を刻印させなさい!カナン地に入るだろう!)

Iサムエル7:1-15(ミツパ運動) - 確かに味わいなさい!

II列王6:8-24(ドタン運動)

⑤Practice

信仰

- だれもが行くことができないところに行く。

- 不可能に挑戦してください。無から有(再創造)

1) covenant→終わり、始まり

▶どのようなことを確実に行ったのでしょうか。時代を動かしていたレムナントは、契約が確実でした。契約がどれくらい確実だったのでしょうか。レムナントの皆さんは必ず記憶してください。すべてのこ

とは、キリスト・イエスにあって完了したということを知っていた人でした。その言葉は、キリストの中で、契約の中で始めるということです。皆さんのすべての状況は始まりです。すでに、すべての暗やみの権威は終わりました。これを分からないでいる大人たちがたくさんいます。サウル王は契約以外に他のことが必要でした。なぜなら、契約によって答えを下すことができなかつたからです。ダビデは、サウル王が必要とすることについて必要ないと言いました。なぜなら、すべてについて契約によって答えを下していたからです。どういうことかお分りでしょうか。確実にやっていかなければなりません。これが確実にないために、時代を動かさないので。偽りのクリスチャンがたくさんいます。力のないクリスチャンがたくさんいます。神様は全能だと言われるのに、私たちは無力なままです。神様は創造主の神ですが、私たちは貧しい状態です。神様はいのちの主管者だと言われているのに、私たちはなにもできない状態です。

## 2) Vision→私、私のこと、私の現場

▶この契約がビジョンとして自分に近づいて来なければなりません。これがビジョンとして自分に近づいたということは、ものすごい意味です。とうとう神様が造られた私、私のもの、私の現場が見えるということです。

## 3) Dream→レムナント7人、終わりを知っていた

▶この時から確実な夢を見るようになります。この夢は、寝るときに見る夢ではありません。本当に生々しく生き生きとした夢を見るということです。レムナント7人がそうでした。確実でした。ヨセフは、世界福音化という確実な契約を持っていたのです。レムナント7人が皆そうでした。レムナント7人は、終わりを知っていたからです。だから、結論は出ているという状態です。レムナントたちは、これらを見つけました。

## 4) Image→申6:4-9、Iサムエル7:1-15、II列6:8-24

▶イメージとは何でしょうか。すでに受ける答えを分かっている状態だから、味わうことができているということです。カデシュ・バルネアで集まりました。申6:4-9です。このみことばを額に、手首に、壁に、道端を歩いているときも、寝ているときも座っているときも刻印させなさいということです。確実にカナンに入国することができるということです。この契約を握って行ったときに、ヨルダンが分かかれ、エリコが崩れました。必ず来ます。この契約を握って進むすべてのものの前のヨルダン、すべての者の前のエリコは崩れます。ましてや月も日も止まる、その奇跡も起こりました。必ず成就されます。単なる夢ではありません。神から与えられる夢です。単なるビジョンではありません。福音の中にあるビジョンです。お分りでしょうか。そこでこちらにいらっしゃるレムナントの皆様は最高に向かって挑戦してください。

## 5) Practice→信仰（不可能に挑戦、無→有（再創造））

▶どのような実践なのでしょう。だれもが行くことができな場所に行くことができます。それが信仰です。それは不可能なのではないか。いま私たちがカナンの地に入ったら、皆死んでしまう。皆ささやいて、また、つぶやいていました。しかし、ヨシュアとカレブはこの信仰を持っていました。皆さんがこの契約をよく握ったとき、すべては終わりです。

▶Iサムエル7:1-15、ミツパ運動、確実な夢を持ちなさい。それを確実に味わいなさい。答えが来る前から味わうことができるということです。だから私たちはみことばを聞きます。だから祈るのです。間違っていることを味わうことなく、正しいことを味わって行くのです。

▶II列王6:8-24、ドタンの町運動です。エリシャはどのように味わったのでしょうか。エリコはいりません。ギルガルもベテルもありません。私に良い土地など必要ありません。なにをあなたは願っているのか。私に霊の2倍の分け前を与えてください。それを求めた理由は、ドタンの町運動について、すでに頭にそれを置いていたということです。レムナントの皆さんを頭に置くことが神の契約であるならば、それらは必ず成就されます。

▶明日、最後の時間にお話ししたいと思いますが、いま言ったこの5つが完全な祈りのかたちにならなければなりません。皆さんの祈りの中のものにならなければなりません。明日、また私の祈りのことをお話ししながら、皆さんと確認していきたいと思います。

昨日の夜、皆さんは2時間ほど賛美しました。そのとき私は一緒に賛美しながら感じたことがあります。

レムナントは、賛美しているこの時間以外には祈りができないかもしれない。この賛美の時間が祈りになれるかもしれない。もしかしたら、信徒たちもここに来て皆で賛美して祈っているが、これ以外は、一人にいる時は祈れないのではないか。だとすると、ここに集まって賛美して祈るということはすごいことだと思いました。もっと重要なことは明日話したいと思います。この5つの確実な内容を持って行かなければなりません。これを常に持つことによって、いつでもどこにいても祈ることができます。答えは、一気に来るものもあるかもしれませんが、ほとんどはひとつひとつ着実に来るものです。レムナントの皆さんは、必ず握らなければなりません。それで崩れていく教会を生かさなければなりません。既成世代、大人の方々は何の力もありません。この5つが分からないからです。

▶レムナント7人が現れては、この内容を確実に持っていきました。不可能に挑戦することが信仰です。なにもない無から有に再創造することに挑戦しました。とても重要です。

▶明日、最後の時間にお話ししますが、実際に皆さんがこれを常にすることができる祈りを作らなければなりません。皆さんの勉強もこの内容5つをもって始めてください。勉強が重要なのではなく、この5つの内容を確実にさせるために勉強しなければならないのです。確実な5つの中にすべて入っています。神様と契約、福音です。福音で終わらない人は必ず失敗します。福音で結論が出ていない人とビジネスのパートナーになってもいけません。また、結婚相手も福音で完全に答えが出ていない人と結婚すると、結婚生活ではなく、ずっとボランティア活動が必要になります。

▶本論 - 5つ内容によって答えが出てきた状態で本論を進めます。

### 1. 生きた契約の旅程に行くことになる。

▶5つの内容を持って進むとき、生きている契約の旅程を歩くことができます。

#### 1) みことば

▶どういうことでしょうか。つまり、みことばについていくことができます。皆さんがなぜ前に進めないのか。それは契約が確実でないからです。だから、進めないのです。神様がくださったことが確実ならば進むことができます。

#### 2) 読書

▶そのあとに神様から与えられた夢を成し遂げていく読書、本を読むことも必要です。いま本も気をつけて読むことが必要です。いま本当に世界を生かすためには、ここを(5つ)生かす本を読まなければなりません。

#### 3) 使徒1:1、3、8

▶そして、何ですか。すべてにおいて1:1、3、8をもって常に再解釈しなければなりません。すべての物事に、キリスト、神の国、ただ聖霊をもって見ていくのです。

#### 4) 礼拝

▶この状態で礼拝をささげるときに、本当に回復されます。続けて生かされます。

#### 5) ただ

#### 6) 唯一性

#### 7) 再創造

▶このときからなにが出ますか。ただ、唯一性、再創造です。

▶これらを指して、時代を生かす、時代を変える技能作品となります。時代を変える技能作品ですから、いやしてサミットになれるということです。昨日の第1講義は、人生の作品だと言いました。こういう形であってこそ皆さんの技能の作品が生まれてきます。

#### ▶Dream (成人式、使命式、派遣式)

この夢の部分は、皆さんが少し考えていかなければならない部分です。自分が思うにはこれで良いのではないかと始める場合、それは正しいでしょうか。確認していかなければなりません。レムナントの皆さんも確認しなければなりません。私は将来的にこれをやろうかな。どうしようかな。ただ友達から「君はこれをやったらいいのでは」と言われて、たとえばそれが当たる場合もあります。しかし、確認すべきです。本当に契約から、神から与えられるビジョンから生まれた夢なのかという確認をしてください。そして、その夢がずっとイメージできる祈りにつなげて、また、実践できるものであるかを確認すべきです。

①成人式 - 世界を生かした聖書に出てくるユダヤ人たちは、今後、私はこれをやると決めたら、専門家10人を集めて話を聞きます。どういう意味かと言いますと、それをユダヤ人は成人式と言っています。記憶してください。皆さんの夢が成人式という過程を通して成れるように確実なものでなければなりません。

せん。私はなにもできない状態ですか。力がありませんか。力のない人たちを生かすための夢を確実に見ていくのです。私は貧しいです。貧しい人を生かせるほどの夢を確実に持ちなさい。夢を確実にするためには、契約とビジョンがなければなりません。そして、イメージと実践できる内容が夢につながらなければなりません。

②使命式・それで現場に行ったときに、それが一致しなければなりません。会堂。それが使命式とされています。

③派遣式・成功した人同士が集まったとします。それがユダヤ人がやっているロッジです。そこでまた確認します。

▶言葉が淡々と飛ぶかのような気がするかもしれませんが、これらは全部つながっています。レムナントの皆さんは、自分の人生の作品を作り、技能の作品を作ってください。大人の人々が行けなかった、できなかったことをやってください。不可能に挑戦してください。できます。多くの既成世代は確実な序論の5つの内容を逃してしまいました。ある人はずっと夢だけを見ます。契約も何もない状態で夢を見ます。それは危険です。契約、ビジョンなしで下の3つ（夢、イメージ、実践）を持つのは未信者と同じです。未信者から学んではいけません。海外からいらっしやっている皆さん、皆さんは皆さんのお国を生かせる5つの内容を確実に作ってください。もう一度お話しします。

バヌアツの方からいらっしやいました。バヌアツ周辺国家6つの国を生かせる確実な5つを作ってください。私たちはできません。私たちはカナンに入国できません。間違っています。カナンに入国することは、神様の計画です。私たちは絶対にローマに勝つことができません。いいえ、勝ちました。確実な内容をもって。皆さんもこの契約を握ってください。

## 2.私の学業が技能作品になる。

▶この状態で進むと、皆さんの学業が技能の作品になります。一人だけ例を挙げましょう。ダビデです。ダビデは羊飼いをしました。その技術がゴリアテに打ち勝ったのです。それが作品です。技能作品。ダビデが作った詩、ポエムや賛美がすべての悪霊の勢力を退けるものとなりました。ものすごいことです。それが技能作品です。このように答えられるということです。大人はお分りだと思います。これらがどんな運動であるかをお分りだと思います。こちらに2万人が集まりましたが、分かりやすく言えばほとんど子どもたち、学生たちです。しかし、大人たち以上の秩序を持っています。このレムナントたちが神学者たち以上にメッセージを理解してくれます。そして、この運動は全世界に続けて広まっています。技能作品です。時代を変える技能作品となります。だから、5つ（CVDIP）の内容を確実に作ってください。それがメインポイントです。どのように作りますか。

▶子どものとき、父親と会話をしている際に契約をつかんだ者がいます。しかし、契約があるにもかかわらず続けて失敗しました。弁護士になりました。失敗しました。そして、政界にも入りました。また、失敗しました。だから、なにもできないと思い込んでしまいました。でも、とうとう大統領になったのです。神様からのみことばを握って、大統領として出て行きました。この時代の最高の大統領として残っています。だれでしょうか。リンカンです。黒人を解放しました。ガラテヤ3：28のみことばをつかんで行ったのです。すべての人々は「あなたはだめだ。できない」と言われていたそうです。でも、リンカンは神のみことばをもって出て行きました。それが彼のドリームです。必ず成就されます。

## 3.技能作品の目標がある。

▶技能作品の目標があります。

1) 王

▶よくご覧ください。レムナント7人を王の前に導いた者がいます。ヨセフを王の前に。モーセを王の前に。ダニエルを王の前に。パウロを王の前に。カイザルの前に立たなければならない。

2) 答え

▶そして、答えを与えたのです。お分りでしょうか。

3) いやし

▶いやしました。簡単に開かれたのです。

▶皆さんがこの5つ（CVDIP）の確実な内容を持つならば答えられます。皆さんの問題は何でしょうか。確実なビジョンと夢がないということが問題です。なぜなら、みことばを逃しているからです。反対に皆さんに確実なビジョンと夢があるとします。福音にあつて。すると、それは必ず成就されます。小さい者も氏族となり、弱い者も強国となると言われました。時が来れば、わたし、主が、すみやかに成し遂げられると言われました。

## 結論-常時祈り（靈的サミット、技能サミット、文化サミット）

▶明日も話したいと思いますが、このすべての内容が常時祈りという形にならなければなりません。常時というのは、時間が決まっているではありません。また、ここでしか祈れないということでもありません。祈りが外に行ってもできるということです。賛美して皆といるときだけ祈れるのではなく、難しいところに一人でいても祈れる状態のことです。

▶一つの課題があるのですが、いままで私は多くの学生運動を見てきました。みな一つで終わっていました。一つで終わるといのは、皆で集まって賛美して、それではいい、終わり、解散となっていました。私がいままで見たのはそんな形でした。集まって賛美して歌って解散したら終わってしまう。賛美して祈って、それだけで終わってしまうのです。釜山にあるコウシン大学にあるコウシン伝道団というものがあるのですが、そこのリーダーが私に個人的に質問しました。「私たちは賛美をどのようにすれば良いでしょうか」と。そのとき私はこう答えました。ツラノという団体でやっている賛美活動はとても良い。けれども、あのような形でやってはいけない、あの形はよくないと言いました。

▶多くのレムナントが確実な5つ（CVDIP）の内容をもって、どこに行こうと祈れる常時祈りに至らなければなりません。これを皆さん、必ずつかんでください。そして、単なるドリームではありません。王の前に立てるほどの最高の夢を持ってください。私はヨンチャンさんに話しました。あなたは6億のハンディキャップのある人たちを生かす夢を持ちなさいと。私はこれからなにをしましょう。そんな心配する必要がありません。みことばについていくことです。私はこれからどうなるのか。いらない心配です。今日、いまが重要です。どこにしようと、みことばについていく。この実践です。これであるならば終わりです。神様が成し遂げられます。レムナントの皆さん、お分りでしょうか。見つけてください。5つを。賛美して歌うだけで、この場だけで、熱くなるだけで終わることなく見つけてください。恐れることはありません。そうだと思いますか。この5つ（CVDIP）の内容を確実に持っていたイザヤは、死の危機の前でも恐れはありませんでした。シャデラク、メシャク、アベデネゴ、ダニエルは死ぬということをつかたうえでも恐れませんでした。いまも答えられています。

### 1) 靈的サミット

▶この常時祈りができると、靈的サミットになるしかありません。

### 2) 技能サミット

▶この靈的サミットから技能サミットが出てきます。

### 3) 文化サミット

▶この2つ（靈的サミット、技能サミット）の結果が、文化サミットになります。必ず覚えておいてください。メッセージはたくさん聞く必要はありません。確実なものをつかんでいるか、つかんでいないかが肝心のポイントです。このドリームは世の中のものではなく、契約にしたがってビジョンの中で持ってください。そして、世界を生かすイメージをいつもイメージしてください。イメージトレーニングをしたりもしませんか。来ていないのに、それを味わってイメージしていくのです。ゴルフ練習も実際にまだ打っていないのに、こういう時はこう打つというイメージトレーニングをしているのではありませんか。それをイメージショット（Image Shot）とも言います。必要です。今回5つの単語を逃してはいけません。すでに見ました。すでに見たのです。イメージしました。夢を見ただけではなく、実際に見たのです。実際にイメージしました。そして、実際に行きました。実行しました。信仰によって。必ず記憶してください。この内容が結果的には祈りという形にならなければなりません。祈りは黙って座って静かにする祈りもあるかもしれませんが、動きながらする祈りもあります。そのように変えなければなりません。多くの人々は座って祈ることが祈りだと思っていますが、動きながらも祈れます。そして、祈りは実際的に入っていくことも祈りです。明日もまたお話ししたいと思います。

▶レムナントの皆さん、今回1個だけ設定してみましよう。この確実な内容をもって、どうなっていくか見ていてください。神様は皆さんを時代を生かすレムナントとして召されました。それが確実な内容です。ですから、契約をつかんでください。私たちをレムナントとして召された主に栄光の拍手を送りたいと思います。

（祈り）

神様、感謝します。契約の者となったことを感謝いたします。勝利の者となりますように。そして、世の中を生かす者となりますように。確実な契約と夢を持つことができますように。

イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン